

渡良瀬遊水地保全・利活用協議会

第 17 回賢明な利活用及び地域振興検討合同部会 議事要旨

日 時：令和元年 5 月 22 日（水） 13 時 30 分～15 時 05 分

場 所：栃木市藤岡公民館（2 階）大会議室 2

出席者：別紙出席者一覧表（構成員：38 団体中 25 団体（37 名）

オブザーバー：4 団体中 0 団体（0 名）

< 議事要旨 >

※当部会については、栃木市が事務局を務めることとなっており、栃木市が部会長を担当。

栃木市遊水地課田村係長が司会進行。

(1) 開会

- ・司会より開会の辞

(2) 挨拶

- ・本会の部会長を務める、栃木市遊水地課 田中課長より

【部会長】

- ・第 17 回目となる合同部会への出席に対する謝意、4 月異動に伴う着任のあいさつ。
- ・本日は、昨年 9 月開催の第 13 回から 16 回までの合同部会の総括となる。
- ・前回までの部会でのご意見に基づき作成した事務局（案）を説明したい。
- ・ご承認いただければ、来る 7 月 24 日の協議会において、当部会に関する前年度の事業報告及び今年度の事業計画として、報告したい。
- ・ご検討の程、よろしくお願ひしたい。

(3) 議題の (1) 「具体的テーマについて」

【議長】

- ・事務局より説明をお願ひしたい。

○事務局

- ・資料 1 に基づき、7 月の協議会以降の部会の進め方について説明。
- ・別紙の令和元年度事業計画に記載のとおり、渡良瀬遊水地エリアエコロジカルネットワーク推進協議会が作成したアクションプランに記載の内容を活用して、ヨシ焼きの火入れ体験等を盛り込んだツーリズムの検討を行いたい。

○議長

- ・説明内容等を含めご意見・ご質問があればお願ひしたい。

(主な意見等)

- ・このツアーの案は、魅力的だと思うが、同時にヨシ焼きの継続実施への対応としては弱いと思う。
- ・ヨシ焼きで火入れをしている方から実態を聞き出して、どのようにして不足する人員を補充していくのかを考えるべき。
- ・日本一のヨシ原があることも、ラムサール条約湿地登録になった理由のひとつであり、ヨシ焼きによって守られているので、ぜひそのような検討を進めてほしい。
- ・このツアーの案が、実現できれば素晴らしいことだと思うので、ぜひ進めてほしい。
- ・このツアーへの参加を通じて、周辺地域の方にヨシ焼きの実態や効果、必要性等について理解を深めてもらえるのは、非常に意義のあること。

- ・ただし、ツアーで火入れ体験までやることに関しては消極的な考え。
- ・ヨシ焼きについて、現状を含めて、課題及び解決策について、色々な意見をもらって、それを（記録として）残すことが重要。
- ・火を扱うことの危険性を甘く見ない方が良い。
- ・十分な経験を積んでもらう必要がある。
- ・ツアーでの見学を通して、ヨシ焼きがどうやって行われているかを見てもらうのは大切だと思う。
- ・結局、どんな案が出て、だれが主体となって実施するのかが決まらなないと前へ進まない。
- ・エコロジカルの案を活用するのであれば、これだけの方がいるのだから、この合同部会において色々な意見を出し合って、肉付けしていくべきだと思う。
- ・我々が、合同部会でどんなに意見を出しても、協議会の時には、事業計画や予算等の承認だけで部会で出たことの実現に向けた議論もされず終わってしまう。
- ・幹事会を行政だけでやるのであれば、幹事会がそれだけの責任を持って、協議会に挙げてもらいたい。
- ・4市2町の行政それぞれで、色々な取り組みをしても、ひとつの遊水地として、訪れる方に対して何の受入体制も出来ていない状況。
- ・色々な事を、それぞれ別々の協議会等で意見を出し合っているだけでは、何も進まないの、やはり連携してやっていくべき。

○議長

- ・事務局から説明のとおり、エコロジカルのプランをたたき台として、進めていくということで7月の協議会に挙げるということでご異議ないか。（特に異議なし）
- ・その他皆様からご意見等なければ、以上で、議事終了とする。

(4) 情報交換・(5) その他

○事務局

- ・参考資料として配布した「遊水地観光資源化」の取組みのチラシについて、利根上より説明。
- ・他に、皆様から情報提供等があればお願いしたい。
- ・その他、特になければ、終了としたい。

(6) 閉会

- ・司会より閉会の辞